

## 春合宿第2問

甲は、同じ飯場に寄宿し日頃から仲の悪かった A を殺害しようとして、A が使用するであろう A 所有の専門コップに致死量の毒を塗布し、共同洗面所に戻しておいたところ、果たして A は右コップで水を飲んだためにその場に倒れこんでしまった。その後、たまたまそこを通りかかった同じ宿舎の乙は、A のただならぬ状態を見て取ったものの、普段から態度の気に入らなかった A を痛めつけてやろうと、渾身の力で A の腹部を蹴り上げ、何食わぬ顔でその場から立ち去った。その後 A は死亡したが、鑑定の結果、その直接の原因は、甲の用いた毒薬による中毒死であったが、乙の暴行によって死が若干早められたことが判明した。

甲と乙の罪責を論ぜよ。